

令和2年度 第2回弘前市廃棄物減量等推進審議会会議要旨

- 日時 令和2年11月10日（月）13時30分～15時00分
- 場所 弘前市役所 市民防災館3階 防災会議室
- 出席者 内山委員、阿保委員、田澤委員、佐藤（八）委員、小田桐委員、藤岡委員、渡部委員、三橋委員、太田委員、安東委員、米谷委員
- 欠席者 佐藤（陽）委員、小館委員、椛澤委員
（委員14名のうち11名出席）
- 事務局 森岡市民生活部長、福士環境課長、高橋上下水道部総務課長
成田町田事業所長、山内環境課長補佐
佐藤資源循環係長、藤田廃棄物政策係長、
成田廃棄物政策係総括主査、齊藤廃棄物政策係主事

○内 容

1 開 会（進行：山内環境課長補佐）

2 部長挨拶

3 会 議（進行：内山会長）

（1）【案件1・2】

弘前市一般廃棄物処理基本計画改定素案に関する意見等（報告）

弘前市一般廃棄物処理基本計画改定に係る諮問事項（審議）

⇒事務局から【資料1・2】の説明をし、諮問事項について審議を行った結果、概ね素案のとおり承認された。

質問・意見等

- ・基本方針2の「ライフサイクル全体」という言葉がわかりにくい。

→わかりやすい表現に修正する。

- ・実質リサイクル率を設定し、これを達成するためには民間回収にも力を入れていく必要があると思うが、こういったイメージを持っているのか。

→昨年から進めている、民間の回収場所の周知啓発について、民間や団体の協力を仰ぎながら進めていきたい。

- ・拡大生産者責任の理解というのは、事業者に対して促すという事か、それとも行政で新たな仕組みをつくるということか。

→市単独で仕組みをつくることは難しいので、事業者訪問等、色々な機会を捉え

て促していきたい。

- ・各施策によってどれくらいごみを減らすとか、リサイクル率を上げるとか設定しているのか。

→計画の目標設定をする上での各施策による積み上げは行っていないが、ワークショップなどの現場においては、組成分析調査の結果を基に、施策による具体的な数値（衣類回収ボックスに持って行けば何グラム減るなど）を提示しているので、個別に目標設定するという事ではなく、そういった周知啓発活動を通して市民の行動変容を促していきたい。

- ・市民が義務感に囚われない、楽しく、面白そうだなという工夫を取り入れていただきたい。

→楽しみながらごみの減量に繋がる取り組みをお伝えしながらやっていきたい。

(2) 【案件3】「スポGOMI大会 in 弘前」の開催について

⇒【資料3】について事務局から説明を行った。

質問・意見等

- ・今後毎年やるのか。

→大変好評であったので、できるだけ続けられるように協議していく。

(3) 【案件4】イベント開催時の分別ステーション設置について

⇒【資料4】について事務局から説明を行った。

- ・貸出はどれくらい準備しているのか。また、借りたい人は市役所に取りに行くということでもいいか。

→1セット用意している。取りに来て、ご自分で運んでいただく。

4 課長挨拶

5 閉会（進行：山内環境課長補佐）

○資料

- ・【資料1】弘前市一般廃棄物処理基本計画改定素案への意見等（報告）
- ・【資料2】弘前市一般廃棄物処理基本計画改定に係る諮問事項（審議）
- ・【資料3】「スポGOMI大会 in 弘前」の開催について
- ・【資料4】イベント開催時の分別ステーション設置について
- ・【別添】「弘前市一般廃棄物処理基本計画改訂素案【第2次】」、「なごみ生活」

○公開・非公開の区分 「公開」